

アトピー性皮膚炎治療研究会とスターウォーズ

こんな話をしよう。私の大好きな映画の1つにスター・ウォーズがある。中でもルーク・スカイウォーカーを主人公としたIV～VI話(1977～1983)を好む。その理由はこうだ。どこにでもいそうな普通の少年ルークが運命に導かれ、厳しい修行に勤しみ、時に修行から逃げだし、様々な経験を重ねる中でフォースと呼ばれる力の意味と制御の仕方をマスター達から学ぶことで少しずつ会得し、正義の偉業を成し遂げる。ルークの成長過程は私に勇気と感動を与えた。フォースは決して特別なものではなく自分自身を信じる気持ちから生まれる力ではないかとの着想も得た。

近年の作品では主人公が誰に学ぶともなく「覚醒」したかのように魔法のような力(フォース)を自在に操り積極的に披露する。私は改めてフォースとはどのような力なのかを考えてみている。

『日頃から治療に用いている最新薬剤もフォースのようなものではないだろうか・・・』

私にこんなことを着想させたのが過日開催されたアトピー性皮膚炎治療研究会である。

会頭の獨協医科大学皮膚科 井川 健先生は「温故知新」をテーマとした。アトピー性皮膚炎治療には歴史の積み重ねによる変遷があり、その今日に至るまでの過程や課題を学ことで「最新治療薬をどう使うか」を考えるきっかけとしてほしい、という会頭の意図が伺える。個人的にとっても共感した。

最新治療薬はフォースのようなものかもしれない。「どう使うか」を考えると同時に、「どうして必要か」「どうやめるのか」を合わせて考えることが大切だ。来年は長崎大学皮膚科がアトピー性皮膚炎治療研究会を主催することになり、テーマを”Long Term Control(長期寛解

維持)”とした。私たち皮膚科医によるフォースの使い方を再考する機会としたい。

今年も4月に新しい専攻医を教室に迎えることができる。私も歴史の語り部の一人としてフォースを上手に使える皮膚科医の育成に努めていく所存である。

室田浩之

アトピー性皮膚炎治療研究会 第26回シンポジウム [HOME](#)

会期 2021年2月6日土・7日日 会頭 井川 健
[獨協医科大学 皮膚科学教室 教授]

温故知新

- 会頭挨拶
- 開催概要
- プログラム
- 参加登録
- 演題募集
- 採択一覧
- 参加者へのご案内
- 座長・演者へのご案内
- 会場・交通案内
- リンク